



さわやか相談室だより



令和元年11月1日発行 第8号 行田市立南河原中学校

さわやか相談室 048-557-0302

この秋は台風も多く大変でした。秋晴れのさわやかな日がようやく続くようになりました。南河原周辺から見える山々の景色も色づき始めてきましたね。2学期は体育祭・新人戦・音楽祭・長距離記録会など活動の場が多く、みなさん精一杯の力を出し合い頑張り、素晴らしい成果になり、沢山の感動を頂きました。また行事に取り組む中で、友達との関係の難しさで悩んだりした人もいたのではありませんか？ お互いに仲良くするには、自分でも相手の気持ちを考え穏やかに話を聞くことや、自分の気持ちをどう伝えるか、普段からお友達とのコミュニケーションを心掛けることが大事です。中学生の今は何事もトライ＆失敗の練習段階です。先生方にお世話になり、失敗を恐れずいっぱい練習して、ぶれない自分を作ってってください。また悩んだり、困ったりした時には相談員に声かけて下さいね。いつも見守っていますよ～。

野田洋次郎さん
RADWIMPS(フッドウィンプス)
ミュージシャン

君が操縦席に座る
「君」という人を
守ってあげてほしい。

泣いてもいい、
叫んでもいい、
逃げてもいい、
全力で逃げるなら
待ってほしい、
その時まで待てるなら

新しい景色が見える。
新しい角度が見えてくる。
「今」とは違う未来が来る。

「時間」を経ると物事は変化する。
新しい景色が見える。
新しい角度が見えてくる。
「今」とは違う未来が来る。

「逃げて、叫んで、泣いて
いい。「君」を守って」

「時間」を経ると物事は変化する。

新しい景色が見える。
新しい角度が見えてくる。
「今」とは違う未来が来る。

「時間」を経ると物事は変化する。

「逃げて、叫んで、泣いて
いい。「君」を守って」

「時間」を経ると物事は変化する。

スクールカウンセラー来校日



11月15日(金)・29日(金)

橋先生にお話を聞いてもらいませんか？
さわやか相談室は1階会議室の隣です。
保護者の方は事前にご連絡下さい。
生徒さんは昼休み・休み時間などを利用して、相談に来てください。

子供の話に耳を傾ける

子どもは、親が他の大人と話している様子を見て、コミュニケーションの方法を学びます。友達や先生とコミュニケーションをとる力を身につけるためには、親というお手本が必要なのです。

さらに大切なのは、「親が子どもの話を聞く」ことです。その場合子どもの話す楽しい話題を、より豊かな気持ちでたくさん聞くのは大切なことです。

誰にも語れないような悲しい・辛い思いを安心して話すことができるのは、家族です。楽しい話はもちろん、微笑みながら聞いてあげて下さい。悲しい話であっても話の腰を折ることなく、じっくり耳を傾け一緒に悲しむ。そんな気持ちのゆとりをもって、子どもを育てることこそ、家族ができる意味深いことなのです。

困っている友達がいたら、「助けてやりたい」という感情が自然にわきあがってくる、そんな子どもになるように親がコミュニケーションを大切にする姿を豊富に見せながら育てていきましょう。

* 相談員のつぶやき *

お小遣いですが、当たり前のようにもらえている家が日本は多いです。アメリカではお手伝いの報酬として貰えるそうです。それも時給に換算して！働かないとお小遣いがもらえない家庭がほとんどです。お金の管理も使えるお金・残すお金・将来に備えるお金など…子供の頃から管理する習慣を身につけている家庭がほとんどのようです。みなさんもお小遣い工夫して使ってね～。